

タグラグビーの競技方法とルール

1.試合の前に

(1) 競技者の人数

コートに入れる1チームの人数は5人とする。
1チームあたり交代要員含めて6～10人で登録する。



(2) 使用する用具と使い方

①タグ・ベルト

(i) 上着 (ビブス) はズボンの中に入れる。

(ii) 全てのプレイヤーは腰にタグ・ベルトを着ける。

(iii) タグ・ベルトは、衣服やゼッケンなどの上から装着し、腰のマジックテープに2本のタグを着ける。(下図参照)

(ベルトが余った場合は、余った部分をベルトに巻くか、ズボンの中に入れさせる)

(3) 審判

審判は、主審・副審2名・(タイムキーパー)とする。

①試合は、主審によってコントロールされ、試合に関する一切の権限を持つ。

2.試合をはじめよう

(1) 競技方法

①攻める側のプレイヤーは、ボールを抱えて走ったり、パスをしたりしながら前へ進み、相手のインゴールまでボールを運んで得点することを目指す。ボールを持っているプレイヤーは、前後左右に自由に走ることが出来るし、パスは何時出しても構わない。

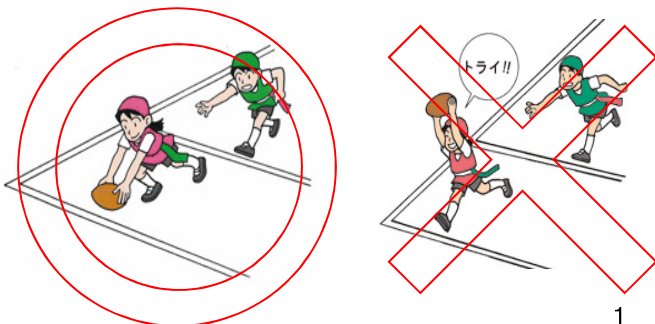


②守る側のプレイヤーは、ボールを持って走ってくる、攻める側のプレイヤーのタグをとることで、その前進を止めることが出来る。

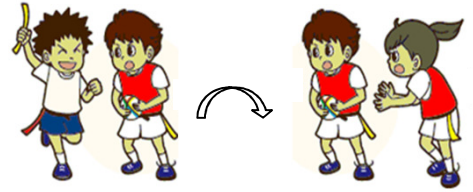


③相手のゴールラインを超えインゴールのエリアにボールを置いて、「トライ」とコールすると得点(1点)が入る。

※ダイビングは禁止。

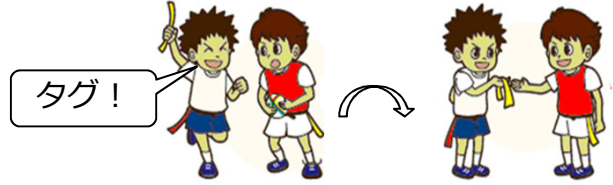


④最初はボールを持ったらゴールを目指して、**タグをとられるまで走る。**



⑤タグをとられたら、3歩以内に後方の味方にパスする。

⑥タグをとったプレイヤーはタグを頭上に指し示し、大きな声で「タグ！」とコールする。必ず、手渡しで返す。



⑦タグをとったプレイヤーはそのタグを返すまで、タグをとられたプレイヤーはとられたタグを返してもらって再び腰に着けるまでゲームに参加できない。



⑧タグを4回とったら試合を止め攻守交代し、**フリーパス**（下記参照）で試合を再開する。
※キッズコースは5回で攻守交代

⑨ボールを持ったプレイヤーがタッチラインを踏んだり超えた場合、又はパスしたボールがタッチラインの外に出た場合は試合を止め攻守交代し、フリーパスで試合を再開する。



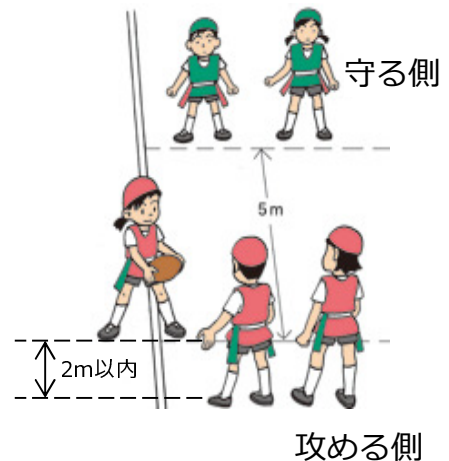
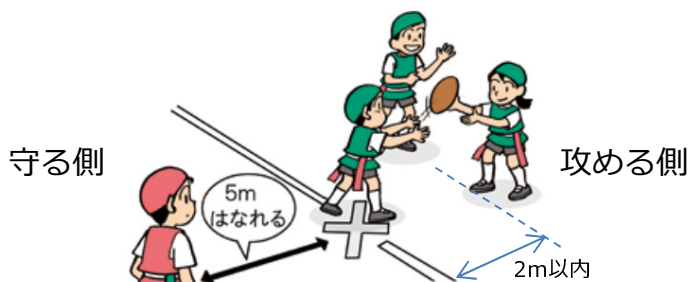
※**ヴェルブリッツ・Enjoyコースはラインアウトからスタート**

【フリーパス】

フリーパスの時、攻める側はボールを持ったプレイヤーの2m以内に立ってパスを受けなければならない。守る側はボールを持ったプレイヤーから5m（7歩）離れること。

（試合開始、トライ後）

コート中央の×位置からフリーパス



（反則、タッチラインアウト後）

反則があった場所又はタッチラインから出た位置でフリーパス

※守る側のプレイヤーは、攻める側のボールを持ったプレイヤーの手からボールが離れるまで5m（7歩）以上離れていること。

(2) ゲームの開始及び再開

- ①センターラインを挟んで向き合って整列し、挨拶をして握手を交わす。
- ②試合開始時及びトライ後の再開はコート中央の×からフリーパスでゲームを開始する。
- ③以下の場合にはその場所からフリーパスで試合を再開する。
 - i) タグを4回（キッズは5回）とられた場合
 - ii) プレイヤー及びボールがタッチラインに接触したり超えた場合
 - iii) 反則があった場合
- ④ゴールライン直前でタグをとられノートライとなった場合やプレイヤーの転倒などで審判が試合を止めた場合にもフリーパスでゲームを再開する。
但し、反則が無かった場合にはとられたタグの回数は引き継がれる。
- ⑤ゴールラインから5m以内又はインゴール内で試合が止められた場合、フリーパスはゴールラインから5mの地点とする。
(反則によって試合が止められた場合はとられたタグの回数はリセットされる)



(3) 反則（以下のプレーが起こったときは攻守交代とする）

- ①全ての身体接触は禁止とする。具体的にはタグをとりにくる手を払う、ぶつかる、相手を手で突き飛ばす、相手を掴むといった行為。
- ②攻撃側がタグをとられないように体をクルクル回転させたり（左右90°まで可）、守備側が手を大きく広げる行為も禁止とする。
- ③地面にあるボールへのダイビングは禁止とし、転がってるボールは立ったままで拾わなければならない。
- ④ボールは常に手で扱い、キックは禁止とする。
- ⑤タグをとられてから3歩以上走ってはならない。
【オーバーステップ】



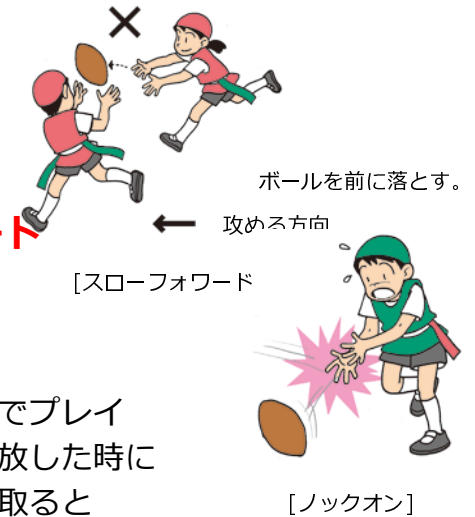
[オーバーステップ]

ボールを前に投げてパスをする。

⑥ボールを前に投げてはならない。【スローフォワード】

⑦ボールを前に落としてはならない。【ノックオン】

※⑥⑦の反則について



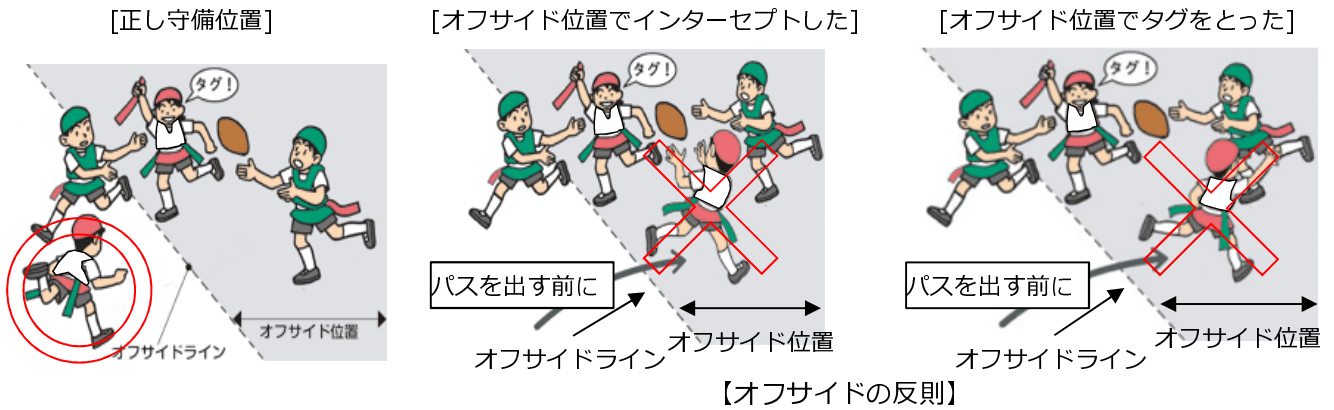
ヴェルブリッツ・Enjoyコースの方はスクラムスタート

1対1の押し合いのないスクラムで再開します。

詳細は練習会や大会当日に説明いたします。

⑧守る側のプレイヤーはボールを持っている人より前の位置でプレイに参加出来ない。ボールを持っている人がボールから手を放した時にオフサイドの位置にいる人がパスをカットしたり、タグを取るとオフサイドになる。【オフサイド】

※反則した場合は、その時点から相手チームのフリーパスで再開する。



(4) 勝敗の得点について

リーグ戦は勝敗やボーナスポイントの合計ポイントによって順位を決定。

ポイントが同率で並んだ場合、総トライ数で判断します。

勝ち…3点 負け…1点 引き分け…2点

相手より3トライ差以上をつけて勝利した場合は+1点を追加。

(5) ゲームの終了

①ゲーム終了後は、握手をして「ありがとうございました」と挨拶する。

②ゲーム終了のことを、ラグビー界では、「ノーサイド」といい、相手チームに敬意を払い健闘を称えあう。

